

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	34,058.75	834.92	2.51	-0.06	-6.27	36,338.30
NASDAQ	13,694.62	221.03	1.64	1.08	-12.47	15,644.97
日経225	26,476.50	505.68	1.95	-2.38	-8.04	28,791.71
上海総合	3,451.41	21.45	0.63	-1.13	-5.18	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,573.43	44.11	0.97	-1.67	-7.43	4,940.37
ハンセン	22,767.18	-134.38	-0.59	-6.41	-2.69	23,397.67
中国企業	7,991.64	-39.26	-0.49	-6.40	-2.97	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は6.4%安と大幅続落、上海総合指数は1.1%安

香港市場ではハンセン指数が6.4%安と大幅に続落した。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を嫌気し、リスク回避の動きが強まった。22日に節目の24000ポイントを割り込むと、ウクライナ侵攻が伝わった24日には23000ポイント割れの水準まで下落。週末25日には約2カ月ぶり安値を付け、週間の下落率は約1年11カ月ぶりの大きさとなった。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%安と3週ぶりに反落。政策期待は根強いものの、ロシアのウクライナ侵攻を嫌気した売りが広がった。

今週の展望:香港市場は波乱含みの展開か、ウクライナを巡る動向の変化に注視

香港市場は波乱含みの展開か。中国の製造業PMIや米国の雇用統計の発表、北京冬季パラリンピックや全人代の開幕など大きなイベントが集中するが、ウクライナ情勢次第で相場は大きく動きそうだ。戦闘の長期化など先行き不透明感が強まればリスク回避の売りが続き、停戦合意など戦闘が早期に終結する見通しとなれば、相場急落後だけに巻き戻しの流れが強まる公算が大きい。本土市場も波乱含みの展開か。全人代の開催を前に相場は底堅さを見せているが、ウクライナ情勢次第では崩れる展開もあり得る。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 バドワイザーAPAC(01876)	24.85	7.58
2 業明生物技術(02269)	64.20	2.64
3 恒隆地産(00101)	16.74	2.57
4 中電控股(00002)	80.10	0.31
5 ヘトロファイナ(00857)	4.10	0.24
6 恒安国際集団(01044)	41.30	-0.36
7 CNOOC(00883)	9.80	-0.71
8 電能実業(00006)	49.60	-0.90
9 中国蒙牛乳業(02319)	49.00	-1.41
10 信義光能(00968)	14.16	-1.53

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 アリババ集団(09988)	105.30	-11.88
2 サズ・チャイ(01928)	21.25	-11.64
3 ハンセン銀行(00011)	148.30	-10.66
4 阿里健康(00241)	5.33	-10.27
5 香港証券取引所(00388)	390.00	-10.18
6 中銀香港(02388)	28.20	-10.05
7 テンセント(00700)	424.00	-9.79
8 申洲国際集団(02313)	132.10	-9.52
9 美团(03690)	170.20	-9.47
10 華潤置地(01109)	36.80	-9.36

▼今週の主なイベント

- 3月1日(火)
- 【中国】製造業PMI(2月)
- 3月4日(金)
- 【中国】北京冬季パラリンピック開幕
- 【米国】雇用統計(2月)
- 3月5日(土)
- 【中国】全国人民代表大会開幕

▼今週の期待材料

- ◆3月5日に中国で全国人民代表大会が開幕、政府による景気下支え対策への期待が高まる公算
- ◆ロシアとウクライナの停戦合意に期待、停戦合意できればリスクオフからリスクオンに反転の可能性も
- ◆3月1日に中国国家统计局が2月の製造業PMIを発表、予想上回る強い内容なら景気の先行き懸念後退へ

▼今週の懸念材料

- ◆ロシアのウクライナ侵攻で戦闘長期化の可能性も、先行き不透明感強まればリスク回避の動き強まる公算
- ◆ロシアのウクライナ侵攻でエネルギー価格上昇、インフレ抑制のため世界各国で利上げ圧力強まる
- ◆香港で新型コロナウイルス感染の第5波が猛威、感染者急増で観光業や飲食業など経済に大きな打撃も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 新世界発展 (00017) : 21年12月中間決算は41%増益、売上高は市場予想上回る
- ☆ 創科実業 (00669) : 2日に21年本決算を発表、市場予想は37%増益
- ☆ 猫眼娛樂 (01896) : 21年本決算は国内映画産業の回復で黒字転換の見通し
- ☆ 聯想控股 (03396) : 21年本決算は42%以上増益の見通し、前年の特殊損失剥落
- ☆ ウェイボー (09898) : 3日に21年本決算を発表、市場予想は60%の大幅増益
- ◇ JDドットコム (09618) : オンデマンド配送ダダ社の株式52%取得で連結子会社化
- ★ 深セン高速道路 (00548) : 1月の通行料収入は12%減少、深セン地区は17%減
- ★ 株洲中車時代電気 (03898) : 21年本決算の速報値は大顧客の需要減で18.5%減益
- ★ ビリビリ (09626) : 3日に21年本決算を発表、市場予想は大幅な赤字拡大
- ★ 百度 (09888) : 1日に21年本決算を発表、市場予想は52%の大幅減益

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。